

日本英文学会東北支部ニューズレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2012年5月号 (May 2012)

発行 日本英文学会東北支部 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科英文学研究室内
TEL/FAX 022-795-5961 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長報告

日本英文学会東北支部長 大河内昌

昨年4月から日本英文学会が完全に支部に基づいた体制となり、それにもなつて東北支部でもいくつかの改革が行われてきました。支部体制の大きな特徴は、日本英文学会の会員が支部を構成するという点です。会員は、支部にのみ所属するということができなくなり、入退会・会費納入・会員の住所や所属の情報管理などは、本部が一括して行うようになりました。したがって、入会や退会の申請、会費に関する問合せや住所・勤務先変更の報告は、本部事務局あてに行ってください。

このように、支部組織が本部と連動するシステムは、面倒な点もあると同時に、新しい活動のかたちを可能にしています。なかでも『東北英文学研究』の創刊と、その『英文学研究・支部統合号』への参加は、支部会員による質の高い論文が全国の読者の目に触れる機会となっています。また、今年度から東北支部は『支部大会統合プロシーディングズ』に参加することになりました。これは全国の支部大会での発表内容を一冊のプロシーディングズにまとめるもので、やはり支部会員の活動を全国に知らせる機会を作ります。今後も、支部会員各位が『東北英文学研究』と支部大会を積極的に利用して研究成果を発表して下さるよう、お願いします。なお、今年度の支部大会は11月17日(土)～18日(日)に岩手県立大学で開催されます。研究発表のご応募をお待ちしています。

以上のように、支部化のメリットは各支部の活動を全国の会員の目に触れる機会を作りだしたことで、もうひとつのメリットは、支部の統合的な活動によって削減した費用を、各支部の活動費に充てることを可能にしたことです。東北支部でも、支部化によって潤沢になった資金を、東北地区の英文学研究の振興に充てるために、今年度から「英文学研究振興事業」を開始することになりました。手始めとして、若手のためのトラベル・グラント、特別講演会への資金援助、支部大会のシンポジウムを基にした論集の出版助成の制度を創設しました。詳細は、本ニューズレター掲載の応募規定をご覧ください。会員のみなさまの積極的な応募をお待ちしています。

今年度は、日本英文学会の本部と支部両方の役員選挙の年に当たっています。9月後半～10月初旬の時期に、全支部会員あてに選挙の通知と投票用紙を送付します。支部会員の投票によって、東北支部の理事が選出されます。選出された支部の理事の中から、本部理事・本部評議員が互選で選出されることになっています。この選挙は全国の支部で同時期に行われ、各支部から選出された理事から、さらに日本英文学会会長が選出されます。重要な選挙であることを御理解いただき、忘れずに投票して下さるよう、お願いします。

選挙に関連して、本部理事会の動きについても、ひとことご報告いたします。去る3月の理事会で、現日本英文学会会長の丹治愛先生(4月から法政大学)が、今年5月末での会長職辞任を表明され、理事会で審議の後、丹治先生の辞任が認められ、同時に6月以降の新会長として、佐々木徹先生(京都大学)が選出されました。佐々木先生の任期は丹治先生の残任期間(来年3月まで)となります。本部理事会では、これまで東京大学・関東支部中心だった会長職と事務局業務を、関東以外の支部も担うようなシステムを作ることを検討しています。そうになると、支部役員選挙の意義も、ますます重要になってくるとおられます。

今年度から、東北支部の事務局体制が一部変更になりました。事務局長は引き続き岩田美喜先生（東北大学）が担当しますが、庶務系の市橋孝道先生の新潟大学への異動にともない、福士航先生（東北学院大学）が庶務係に、原雅樹さん（東北大学大学院生）が庶務係補佐に着任しました。支部体制が順調に走りだすまでは、いましばらく時間がかかると思われます。今後とも、一層のご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

最後になりますが、第67回支部大会の開催校をお引き受けいただきました岩手県立大学の会員のみなさまには、こころより感謝申し上げます。

入退会手続きおよび会費納入について

2011年4月より日本英文学会が支部体制へ移行したことに伴い、全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることになりました。詳しくは日本英文学会ホームページ（<http://www.elsj.org/>）でご確認ください。年会費は、一般会員8,000円、学生会員5,000円（ともに支部会費込み）です。

第67回支部大会の開催について

2012年4月21日に第1回支部理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第67回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2012年11月17日（土）・18日（日）

場所：岩手県立大学

研究発表応募要項

大会第1日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1) カバーレター（東北支部のHP上にあるテンプレートをご使用ください）、(2) 2,000字程度の発表要旨（審査用）、(3) 400字程度の発表要旨概要（採用された場合に大会プログラムに掲載）、の3点を 6月30日（土）までに MS Word形式の添付ファイルにして、東北支部事務局（tohoku@elsj.org）までお送りください。皆さまのご応募をお待ちしております。

シンポジウムについて

大会第2日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英文学部門：テーマ「作家と戦争／戦争と作家」（仮）

司会・講師：川崎和基（日本大学）

講師：鈴木雅之（宮城学院女子大学）・圓月勝博（同志社大学）・今井裕美（山形文教大学短期大学部）

◆米文学部門：テーマ「60年代の米国音楽」（仮）

司会・講師：村上東（秋田大学）

講師：交渉中

◆英語学部門：テーマ「結果構文について」（仮）

司会・講師：交渉中

東北支部英文学研究振興事業について

2012年4月1日より、東北支部では会員の皆さまの研究振興のために、従来の「東北英文学賞」に加え、1) 若手研究者のためのトラベル・グラント、2) 支部大会シンポジウムをもとにした出版の助成、3) 講演会の開催支援、という三つの事業を新たに開始いたしました。

以下の規程をお読みのうえ、東北支部HP（<http://www.elsj.org/tohoku/>）上に掲載された応募フ

ホームをダウンロードして、事務局までご応募ください。また、例年通り「東北英文学賞」への応募も受け付けております（6月15日応募締切）。こちらでも支部HPで応募の詳細を確認のうえ、どうぞふるってご応募ください。

日本英文学会東北支部 英文学研究振興事業規程

I. 若手研究者のためのトラベルグラント

- (1) 学生会員もしくはいまだに専任職をもたない会員が学会発表を行うさいの支援を目的とする。発表する学会の性格、規模等を理事会において審査のうえ、助成の可否を決定する。
- (2) 助成金は交通費の実費とし、一件当たり3万円を上限とする。
- (3) 助成する学会に関しては、日本英文学会の支部大会・全国大会を優先する。それ以外の助成対象は、原則として全国的な学会における発表とし、私的な研究会や勉強会は助成の対象としない。
- (4) トラベルグラントの募集は毎年2回締め切りを設け、締め切り直後にまとめて審査される。締め切り日は4月1日と10月1日とする。
- (5) 年間の助成金の上限は全体で15万円とする。多数の申請が競合した場合には理事会で協議のうえ、減額して支給することもある。
- (6) 申請者は当該学会の開催日以前に申請書類を提出しなければならない。申請にあたっては、支部HP上にある申請書フォームに従って必要事項を記入し、必要書類を添付して、電子メールで申請すること。

II. 支部大会シンポジウムをもとにした出版の助成

- (1) 支部大会のシンポジウムを基にした論集の出版の助成を目的とする。
- (2) 助成額は1件当たり30万円とする。
- (3) 毎年10月1日を締め切りとして申請を受け付ける。
- (4) 論集の主題、タイトル、内容を理事会において審査のうえ、その助成の可否を決定する。採択される申請は原則として毎年1件とするが、複数の申請が競合した場合には、理事会で協議のうえ、複数の申請に対して、助成金を減額して支給することもある。
- (5) 申請者は出版以前の計画段階で申請書を提出しなければならない。申請者は出版後すみやかに論集を事務局に提出しなければならない。助成金は、理事会で論集の出版を確認したうえで支払うこととする。
- (6) 支部HP上にある申請書のフォームに従って必要事項を記入し、電子メールで申請すること。

III. 特別講演会の支援

- (1) 支部大会において開催校が特別講演を企画する場合には、謝礼5万円と交通費実費を、合計10万円を上限として支給する。審査は行わない。
- (2) 支部大会以外でも、会員を裨益するような国内外の著名な研究者の講演に対しては、講演のテーマ、招聘の主体となる団体の規模、性格、講演する研究者の業績を理事会において審査のうえ、1件につき5万円を助成する。
- (3) 講演会の企画の募集は毎年6か月ごとに締め切り、締め切り直後にまとめて審査される。締め切り日は4月1日と10月1日とする。
- (4) 年間の助成金は全体で2件10万円までとし、助成の可否は理事会で決定する。助成を受けた場合は、日本英文学会東北支部との共催とし、支部会員に対してホームページ等で周知を図る。また、ポスター、プログラム、ホームページなどに日本英文学会東北支部の支援を受けていることを明記するものとする。
- (5) 申請者は当該学会の開催日以前に申請書類を提出しなければならない。申請にあたっては、支部HP上にある申請書のフォームに従って必要事項を記入し、講演者の履歴書・業績書を添付して電子メールで申請すること。
- (6) 申請者は、当該講演会終了後、速やかに収支報告書及びA4用紙1枚以内の報告書を提出しなければならない。

以上

理事会報告

2012年4月21日に、本年度第一回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2012年度第1回理事会 議事録

日時 2012年4月21日(土)・15:00~16:30
場所 東北大学川内南キャンパス 文学部3階 中会議室
出席者(敬称略) 支部長・大河内昌, 副支部長・箭川修, 事務局・岩田美喜/福士航/原雅樹, 理事10名

議 題

(1) 2011年度事業報告について

事務局が提示した事業報告が承認された。

(2) 2011年度決算報告について

事務局が提示した決算報告が承認された。

(3) 2011年度監査報告について

監査委員の金子義明理事より監査報告について説明があり、承認された。

(4) 2012年度事業計画について

事務局が提案した事業計画が承認された。

(5) 2012年度予算について

事務局が提案した予算案が承認された。

(6) 終身会員制度について

大河内支部長より、日本英文学会本部からの持ち帰り議案として「終身会員制度」を設ける案が示され、承認された。また、本部理事会では、各支部においては理事に定年を設けないことが決定されたが、東北支部にはもともと定年規程がないことが、支部長より説明された。

(7) 『支部統合Proceedings』に関する費用負担について

大河内支部長より、東北支部も本年度より『支部統合Proceedings』に参加するため『東北英文学研究』に加えて新たな費用負担が発生することが説明され、承認された。

(8) 会長支部持ち回り制度について

大河内支部長より、日本英文学会本部からの持ち帰り議案として「日本英文学会会長を、関東支部(2期4年)→他支部(2期4年)として、関東支部に集中させないようにする制度」が提案された。阿部理事や田中理事より「わざわざ制度化する必要があるのか」といった質問が出たが、協議の結果、東北支部の意向として「会長支部持ち回り制度に対して特に異議なし」という意見がまとまった。

(9) その他

・東北支部役員選挙について

2012年度は、日本英文学会全支部の役員選挙年に当たるため、大河内支部長および事務局より、役員選挙のスケジュール(9月に実施し、10~11月に開票予定)および選出役員の役職について説明があった。

以上

事務局の体制について

2012年度事務局のメンバーは、事務局長・岩田美喜(東北大学)、庶務・福士航(東北学院大学)、庶務補佐・原雅樹(東北大学・院)の三名です。事務局へのご連絡は、電子メール(tohoku@elsj.org)をお使いください。